「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）枠

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | ②職名・授業者氏名 | ③教科 | ④ペアでの話合い活動 | ⑤グループでの話合い活動 |
| ２年１組 | 日田　太朗 | 体育 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | アニマルランドで遊ぼう（マットを使った運動遊び） |
| ⑦本時のねらい | 腕立て横跳び越しについて、支持での川跳びにおける手足などの使い方との共通点や相違点に着目することによって、自分が工夫したことや友だちのよい動きを伝えることができるようにする。 |
| ⑧本時の評価規準 | 自分が工夫したことや友だちのよい動きを話したり書いたりしている。【思考・判断・表現】〔観察・カード〕 |
| ⑨展開 | めあて | ぴょんぴょんランドで遊ぼう |
|  | 課　題 | 大きく跳びたいときはどうすればよいのかな。 |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童生徒への手立て・手や足を移動する場所や目線の先にマークを付け、支持で移動できる体の動かし方を視覚的に分かるようにする。 |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童生徒への手立て・複雑な動きをすることが難しい児童に対し、擬音語や擬態語を用いて動かす体の部位を意識させる。 |
| まとめ | ・しゃがまずに、立ったところからマットに手をつくとよい。・バンザイしてから手をつくとよい。※「おへそをマットに向けてバンザイをしてから手をつく」「足をチョキにしたほうが足を上げやすい」など、側方倒立回転のポイントになる発言も認める。 |
| 振り返り | ・しゃがまずに手をつくと、前よりも大きく跳べるようになった。・アザラシやカエルの動きと同じところがあった。・もっと大きい川を跳んでみたい。など |
| 板書計画大きなジャンプをしたいなめあて　ぴょんぴょんランドであそぼう　　　ルール　川（に見立てたマット）に手をついてとびこえる　　　みんなが見つけた とびかたのコツ○○さんのジャンプは大きいな！　　　　　　・うでをぴんとのばして手をつく（アザラシ歩き）　　　　　　・手の前を見る（カエルとび）かだい　（○○さんのように）大きくとびたいときはどうすればよいのかな。　　　　　　＜同じところ＞　　　　　　　　　＜ちがうところ＞・うでをぴんとのばしている。　　・しゃがまずに手をついている。・手の前を見ている。　　　　　　・バンザイしてから手をついている。まとめ　・しゃがまずに、立ったところからマットに手をつくとよい。・バンザイしてから手をつくとよい。ふりかえり　・しゃがまずに手をつくと、前よりも大きく跳べるようになった。・アザラシやカエルの動きと同じところがあった。・もっと大きい川を跳んでみたい。 |